インディア・インターナショナル・スクール・イン・ジャパン新校舎 完成

世界の将来を担う人材を育成

インディア・インターナショナル・スクール・イン・ジャパンの新校舎が東京都江東区千石３丁目に完成した。これまでは同区大島１丁目の旧中学校校舎を使用していたが、老朽化や契約更新期を迎えることなどを理由に移転、新校舎の新築を決定し、白を基調とした５階建ての校舎棟と体育館を建設した。同校は、文部科学省指定のインターナショナルスクールで、幼稚園児から高校生まで約９００人が在籍する。新校舎の設計、施工はともに髙松建設が手がけた。

完成に寄せて

学校法人インディアインターナショナルスクール学園
インディア・インターナショナル・スクール・イン・ジャパン
理事長・校長　ニルマル・ジェイン

このたび、東京都江東区の千石で整備を進めてまいりました校舎が完成し、５月31日から運用を開始しました。これまでは、江東区立の旧中学校校舎を活用していましたが、建物の老朽化が進み区からの使用許可期間も終了するのに合わせて移転を計画し、新校舎を建設しました。設計・施工を手がけて下さいました髙松建設様には、私たちの要望を随所に取り入れ、白を基調とした美しい校舎に仕上げていただき、厚くお礼申し上げます。

当スクールは、2004年に日本初のインド式インターナショナル・スクールとして江東区に開校しました。2009年には横浜市緑区に横浜校も開設しています。

日印２カ国間関係の強化に貢献

27人でスタートした当スクールは、その後、ＮＰＯ法人化を経て、現在は東京都が指定する学校法人として、園児から高校生まで900人を超える児童・生徒が在籍しています。約８割がインド人で、そのほかは日本人、ネパール人、バングラデシュ人などさまざまです。いまは40クラスですが、新校舎は余裕を持たせたつくりで、50クラスまで増やすことができます。

授業はインド政府の教育監督機関であるＣＢＳＥ（後期中等教育審議会）と、国際的な教育プログラムである国際バカロレアに準拠しており、原則英語で行います。またヒンディー語、タミル語、日本語、ネパール語などのうち２カ国語を必修としています。国際的に通用する大学入学資格や日本の大学受験資格が与えられ、卒業した多くの生徒が世界各国の著名大学に進学しています。

私たちは「教育大使」としてインド最高の教育システムと教育哲学の提供を通し、日印２カ国間関係の強化に貢献してきました。引き続き、将来の世界を担う子供たちを地球市民として育成することに努めてまいります。

設計コンセプト

本計画敷地の東側にある親水公園に対して開けた配置計画とした、鉄筋コンクリート造地上５階の校舎棟と鉄骨造地上２階の体育館棟の２棟から成るインディアインターナショナルスクールです。本インターナショナルスクールには幼稚園から高校生までが利用するため、学年ごとにフロア分けを行い、幼稚園児は特に他の学生と動線が交差しないように安全性に配慮しました。

校舎棟の１階は幼稚園、２－３階は小学生、４階は中学生、５階は高校生のフロアとなっています。
授業形態が日本でいう教科教室型に近いため、廊下幅を広く計画し、ロッカーや掲示物を設置できる計画としました。

体育館棟はバスケットボール、バレーボール、バドミントンの公式戦が可能なサイズとし、バスケットゴールの高さも小学生から高校生が使用できるよう上下可動式のものを採用しました。また、生徒の安全性に配慮し、体育館内には柱型が出ない計画としました。

構造計画は、校舎棟は将来的なクラス編成やリノベーションに配慮し、純ラーメン構造を採用し、クラスサイズをユニットとして長手方向は７ｍの均等ピッチとしました。体育館棟は鉄骨造を採用し、幅18ｍ、高さ12.5ｍの大空間を確保しました。

十人十色の可能性を「白」で表現

全館ＬＥＤ照明の採用、トイレ等は人感センサー、衛生器具は節水型の採用、サッシは複層ガラスの採用など環境や省エネルギーに配慮した計画としました。

デザインはお施主様より「traditional（伝統的）」としてほしいと要望がございましたので、ここに通う生徒たちが真っすぐ成長する姿を思い、十人十色の可能性を広げる、その始まりの「白」という色を内外共に強く意識したデザインとしました。外観はグリッドが印象的となるように柱梁の躯体を生かし、メインエントランスには印象的なリブ柱を設け、２層吹抜を計画することで明るく広々とした空間としました。各階にフロアカラーをアクセントとして廊下の両端と中央の柱に取り入れ、廊下の天井に斜めを取り入れることで70ｍの長さを感じさせず、「白」とすることでデザインがより強調された空間となったと感じています。

外構は広々とした敷地を生かして、東側に校庭とテニスコートを配置し、外部へ開けた空間としました。

敷地の四方に緑地を均等に配置し、メインとなる南側にはインドの国樹である菩提（ぼだい）樹をシンボルツリーとして植えました。この他にも四季を感じられるように桜や百日紅（さるすべり）等の落葉樹と冬場も寂しくならないように金木犀（きんもくせい）やオリーブ等の常緑樹をバランス良く配置しました。

この建物は生徒たちのさまざまな物や作品があふれ、「白」という意識が薄れていくことで完成に近づいていくと思います。その「余白」をつくれたことに喜びを感じるとともにそうなる時がとても楽しみです。

髙松建設株式会社　設計本部　高瀬結惟

作業計画綿密に品質・安全確保

施工のポイント

校舎棟は白色を基調とし鉄筋コンクリート造５階建て、幅19㍍、長手方向70㍍の建物で、コンクリート数量が１フロアで７５０立方㍍と膨大になる。当初は１フロアにつき３回に分けた打設を計画していたが、工期内での完成を確実にするため、協力会社と打ち合わせを重ね２回に変更し、躯体工事期間を短縮した。

打設にあたっては品質管理を徹底。施工を担当した髙松建設の出井克典所長は「約１カ月間にわたって事前の計画を練りました。ポンプ車２台の打設手順を何度も検討し、段取りから作業環境まで細かくチェックしたことで、密実で良好なコンクリート構造物を実現できました」と話す。

床工事の型枠には、昨今の木材価格の高騰や人手不足に対応し、予定していたベニヤ型枠ではなく鋼製型枠トラス筋付フェローデッキを採用。鉄筋が組まれているため、配筋が均一で高精度な打設が可能になるとともに、最も人手を必要とする床工事の合理化を図った。Ｓ造大空間の体育館は、梁を山形にくみあわせた合掌梁形式の屋根架構が特徴。建て方にあたっては合掌梁を地組みし、90㌧クローラークレーンで揚重することにより、仮設足場組み立ての手間や危険を伴う高所作業の削減、工期短縮につなげた。

安全管理では「先考・先攻・先行」の三つの「せんこう」を方針に掲げた。「『先考』は常に先を考えた安全意識を持つ、『先攻』はどの場面でも安全設備を先に攻める習慣を持つ、『先行』は誰よりも先だって安全設備の点検を行う習慣を持つ、という意味です。この方針により無事故無災害を達成できました」

発注者がインド系学校法人の本工事は同社の注目案件で、設計、購買、営業など本店の総力を挙げて完成に導いた。

工事を終え出井所長は「学校建設の経験の浅い若手社員が多い現場でしたが、彼らから自分が考えていなかった発想や工法が次々と出てきて、若手社員の伸びしろに驚くとともに、個人としても新たなものづくりの楽しさを経験できた財産となりました。また昨年８月には、小中学生とその保護者を対象にした日本建設業連合会の『けんせつ探検隊』が開催され、親子との現場探検も初めての体験で勉強になりました」と振り返りながら、「無事、お引き渡しできたのは建築主様、近隣の皆さまのご理解・ご協力、工事関係者全員の努力のたまものと厚くお礼申し上げます」と謝辞を述べた。

メインエントランス

体育館内観

教室

校庭からの校舎外観（右が体育館）

工事概要

■工事名称：千石・インディアインターナショナルスクール新校舎新築工事
■工事場所：東京都江東区千石３－１－４
■建 築 主：学校法人インディアインターナショナルスクール学園
■構　　造：校舎棟／ＲＣ造、体育館／Ｓ造
■階　　数：校舎棟／地上５階、体育館／地上２階
■敷地面積：6,623.26㎡
■建築面積：2,344.72㎡
■延床面積：7,490.07㎡
■設　　計：髙松建設株式会社東京本店一級建築士事務所
■施　　工：髙松建設株式会社東京本店
■工　　期：2022年１月20日～2023年３月31日

※写真提供／髙松建設

Ⅲ 設計・施工 Ⅲ

TakaMatsu 髙松建設 東京本店
東京都港区芝 4-8-2　電話 03(3455)8101

■ 空調・衛生設備工事　暁飯島工業 株式会社 東京支店　東京都台東区上野 7-6-11　電話 03(3845)8933
■ 電気設備工事　旭電業 株式会社　東京都世田谷区上馬 2-27-23　電話 03(6453)2735
■ クレーン工事　株式会社 宇田川運送　東京都江戸川区西一之江 2-31-5　電話 03(3653)6111
■ 鉄骨工事　鎌ケ谷巧業 株式会社　千葉県鎌ケ谷市東初富 6-7-20　電話 047(443)6181
■ 土工事　有限会社 光進建設　東京都葛飾区白鳥 2-21-10　電話 03(3602)6311
■ 工事用電気設備工事　光伸テック 株式会社　東京都新宿区西新宿 4-6-7　電話 03(5388)0621
■ 鍛冶工事　株式会社 正栄工業　千葉県四街道市大日 796-8　電話 043(422)2045
■ 鋼製床・フローリング工事　株式会社 染野製作所　東京都大田区西蒲田 7-60-1　電話 03(3735)4891
■ 型枠大工工事　大尚 株式会社　埼玉県蕨市錦町 4-8-26　電話 048(432)3140
■ 鉄筋工事　高千穂鉄筋 株式会社　千葉県白井市神々廻 1828　電話 047(491)5272
■ 左官工事　株式会社 タナカ工業　埼玉県草加市青柳 3-25-20-1　電話 048(951)7673
■ フェンス工事　塚本商事機械 株式会社　東京都中央区銀座 4-2-15　電話 03(5524)6904
■ 山留工事　株式会社 ティーケーケー　東京都台東区鳥越 2-11-6　電話 03(3864)1711
■ 内装工事　株式会社 TK建装　千葉県船橋市北本町 2-44-15　電話 047(409)8878
■ 硝子工事　東京マテリアル 株式会社　東京都江東区新木場 1-6-24　電話 03(5569)2351
■ 植栽工事　株式会社 東毛造園土木　群馬県邑楽郡千代田町大字福島 642　電話 0276(86)2423
■ 床工事　中川インテリア 株式会社　東京都江戸川区東小岩 1-31-5　電話 03(3650)6111
■ 塗装工事　株式会社 中村塗装店　東京都品川区上大崎 3-6-4　電話 03(3445)0071
■ 防水工事　中村瀝青工業 株式会社　東京都荒川区町屋 1-18-8　電話 03(3892)0131
■ 杭打工事　日本コンクリート工業 株式会社　東京都港区芝浦 4-6-14　電話 03(3452)1081
■ 圧接工事　有限会社 八千代ガス圧接　千葉県八千代市米本 2157-1　電話 047(488)1377
■ 内装仕上げ工事　株式会社 八千代工業　千葉市花見川区千種町 368-18　電話 043(259)7141
■ 鳶工事　株式会社 和久田　東京都豊島区長崎 1-4-14 1階　電話 03(3974)9455

【順不同】